

「いま検察に何が起きているのか」

昨年から今年にかけて、東京地検特捜部により、民主党小沢幹事長、鳩山首相らへの捜査が行われ、「政治とカネ」をめぐる議論が改めて沸きあがりました。

他方、特捜部による捜査が総選挙に伴う民主党への政権交代の前後に行われたこともあって、一部には、この捜査の政治的意図を疑う意見や、国会開会前に現職国会議員を逮捕するといった捜査手法への疑問、さらには、諸外国に比べて強大な権限を有している日本の検察制度のあり方を問題とする意見も出されました。

このような状況からは、これまで汚職を初めとする金権政治を糾す「正義」の担い手と見られてきた特捜検察について、民主主義政治体制下における検察のあり方という観点から、今一度原点に返って考え直してみる必要があるといえます。

今回の記念講演では、長年にわたって特捜検察の取材を続けてこれ、今回の東京地検特捜部の捜査に対しても、いち早く意見表明を出されたジャーナリストの魚住昭氏をお招きし、取材の現場から見えてきた特捜検察の変遷と検察の問題点、今後のあり方についてお話いただきます。

皆様、ふるってご参加ください。

<魚住 昭氏 プロフィール>

1951年生まれ。

熊本県立熊本高校から、1975年一橋大学法学部卒業。

同年、共同通信社入社。社会部で司法記者として東京地検特捜部、リクルート事件などを取材。

1996年退社、フリーのノンフィクション作家に。

2006年より佐藤優、宮崎学氏らとメディア勉強会「フォーラム神保町」を運営。

2009年4月より、ウェブマガジン『魚の目』創刊、責任編集。

著書：「テロルとクーデターの予感」(佐藤優氏と共著)「官僚とメディア」
「証言 村上正邦～我、国に裏切られようとも」「続・いったい、この国はどうなってしまったのか!」(斎藤貴男氏、目取真俊氏と共著) 他多数

- 日時:2010年5月8日(土)
14時30分～16時30分
- 講師:魚住 昭氏
- 会場:神戸市勤労会館
講習室404



<会場へのアクセス>
JR、阪急、阪神、地下鉄
「三宮」駅より東へ徒歩5分

<住所>
〒651-0096
神戸市中央区雲井通
5丁目1番2号
Tel:078-232-1881

入場無料・予約不要

主催 : 社団法人自由人権協会大阪・兵庫

http://www.ki.rim.or.jp/~jclu_oh E-mail : jclu_oh@ki.rim.or.jp Tel : 06-6364-3051 / Fax : 06-6364-3054